

# 未来に残そう！地域の宝 十二潟

## 岡方第一小学校

「十二潟」は、岡方第一小学校から歩いて20分くらいのところにあります。面積約6ヘクタールの小さな潟が「地域の宝」と呼ばれ、多くの人々によって守られているのはなぜでしょうか。私たちは、十二潟のことをもっと知るために、歴史や自然、人々の願いなどについて、学んでいます。

### 2年生

9月の十二がたで、発見したことを写真にとったよ。十二がたには、かえるのたまごや小さな魚、めだかが泳いでいたよ。大きな鳥（サギ）も見えたよ。アサザとガガブタ、コオホネの花もさいていたよ。



左の写真から、「アサザ」「ガガブタ」「コオホネ」。いずれも8月中旬から9月中旬にかけて咲く水性植物です。



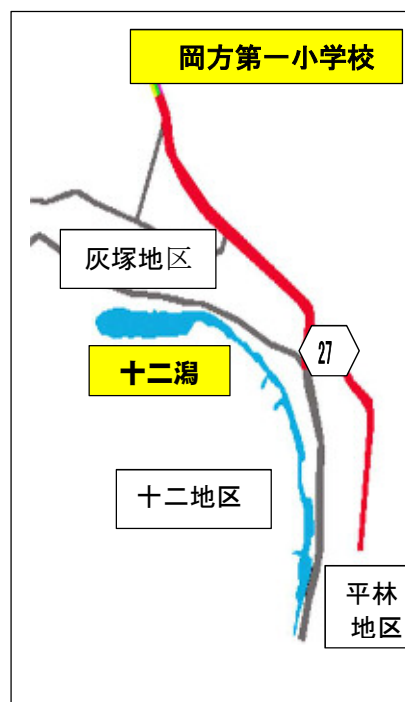
アサザとガガブタの葉はよく似ていますが、アサザの葉はギザギザで、割れ目が閉じています。ガガブタの葉はなめらかで、縁が開いています。十二潟のアサザは、おしべとめしべが同じ長さになっているので、一つの花で受粉し、種ができます。絶滅危惧種に指定されています。

### 3年生



地域の倉島さんから昔の十二潟の様子や暮らしについて教えてもらいました。昔は、魚、虫、鳥がたくさんいたそうです。ヨシやコオホネの花は今でも夏になると咲くけど、ライギョやイトヨなどはもういないそうです。倉島さんは、73歳。「65年先も十二潟が今のまま残っていてほしい。ちゃんと花が咲き、自然がそのまま残っていてほしい。」と話してくださいました。

岡方地域には、阿賀野川が流れています。阿賀野川は、昔は「暴れ川」で、度々水害が起こっていました。江戸時代から明治時代にかけて河川の改修工事が行われ、阿賀野川の一部が取り残され、上流・中流・下流からなる三日月形の「十二潟」ができました。今でも十二潟を「古阿賀（ふるあが）」「前の川」と呼ぶ人が多くいらっしゃいます。



### 1年生



あきのじゅうにがたであそんだよ。せのたかい「ヨシ（葦）」がたくさんはえていたよ。みんなでヨシトンボをつくってとばしたり、ふねをつくってきょうそうしたりしたよ。

### 4年生



同じ北区には、有名な「福島潟」があります。春夏秋冬に福島潟に行き、十二潟と似ているところと違うところを調べました。福島潟は十二潟の43倍の面積があり、オニバスやヒシクイが有名です。

### 5・6年生



6月と9月の2回、岡方コミュニティ委員会、いろいろ十二潟を守る会、県立植物園倉重園長、北区役所の方々の協力をいただき、観察会を行っています。水質や水位、潟舟に乗って葉の数、植物の分布について調査します。5年間の記録と比べると、水質が下がり、ヒシが増えてアサザが少なくなっていることが分かりました。このままだと十二潟に生き物が住めなくなってしまうです。



地域の方は、一斉清掃や外来種の駆除などの活動を行っています。私たちは、地域の人々が大切に守ってきた「地域の宝 十二潟」をこれから先も、ずっと残すことができるように、自分たちでできることを考え、地域の方々と協力して守っていきます。

駆除されたヒシの実を使って素敵なストラップを作りました。

